

平成22年管内の健康診断結果

一般定期健康診断の有所見率56.6%

—前年比1.1ポイント増加—

名古屋北労働基準監督署

特集

本年も10月1日より「全国労働衛生週間」が「見逃すな 心と体のOS みんなでつくる健康職場」のスローガンの下展開されます。労働衛生は労働衛生管理の基本である「作業環境管理」「作業管理」「健康管理」の三管理を中心に実施していますが、その内の「健康管理」について、平成22年の定期健康診断の結果を、表1から表3に取りまとめました。

定期健康診断における有所見率は、56.6%（前年比1.1ポイント増加）と二人に一人は何らかの異常所見があることとなります。

有所見者数が毎年増加傾向にあり、平成20年に10万人を超え平成21年は若干減少したものの22年は10万4492人と過去最大数となりました。

受診者数は18万5254人で、前年より2043人増加しております。

有所見の中でも特に脳・

平成22年定期健康診断・特殊健康診断の有所見率の状況

表1 定期健康診断有所見率（業種別・検査項目別）

名古屋北労働基準監督署 (%)

検査項目 業種	脳・心臓疾患関連			左記以外で有所見の高い検査項目								歯科 検診		
	血圧 検査	血中 脂質 検査	血 糖 検 査	聴力検査		胸部 X 線 検 査	貧 血 検 査	肝 機 能 検 査	尿検査		心 電 図 検 査		有 所 見 率 (計)	
				1000Hz	4000Hz				糖	蛋白				
全産業	13.8	34.8	15.4	3.5	7.5	6.5	8.9	18.3	2.6	4.5	12.5	56.6	32.8	
製造業	12.9	33.1	16.1	3.6	9.7	6.3	7.8	17.5	2.7	3.2	13.4	51.7	2.0	
主な 製造 業	食品製造業	13.7	27.6	13.6	4.5	10.3	5.0	7.8	11.9	3.6	5.2	9.6	50.3	0.0
	印刷製本	15.9	40.1	22.1	3.5	6.2	5.8	10.5	26.9	3.9	5.2	11.4	64.6	0.0
	化学工業	15.9	30.0	12.6	3.4	9.8	10.2	6.7	13.6	2.0	3.8	10.5	48.4	0.0
	金属製品	13.4	39.6	27.4	5.1	16.4	8.3	9.9	18.4	5.2	4.4	11.8	59.7	0.0
	一般機器	12.8	36.2	14.8	3.8	10.9	5.4	6.6	16.2	2.4	2.0	11.9	51.4	6.9
	電気機器	9.6	49.6	13.9	2.6	6.9	5.4	8.1	17.4	1.9	1.8	18.1	45.7	0.2
	輸送用機械	16.2	36.0	19.4	4.3	15.2	6.5	6.6	20.4	4.2	2.6	17.9	55.7	0.0
建設業	18.0	42.2	18.4	3.0	8.9	10.7	9.1	25.8	3.5	6.3	14.0	68.0	33.3	
運輸交通業	25.5	46.4	24.0	6.3	15.6	10.3	9.6	24.7	6.2	5.2	15.5	67.0	44.2	
貨物取扱業	17.1	36.5	18.4	3.8	9.1	5.8	9.9	14.9	3.2	3.6	11.1	56.0	0.0	
商業	12.4	33.0	14.0	3.1	4.6	5.2	8.7	18.2	2.0	4.8	10.5	54.5	55.2	
金融広告業	13.2	33.2	16.1	2.7	4.9	5.2	9.2	14.1	2.4	3.7	11.3	54.8	16.6	
接客娯楽業	11.5	35.0	15.5	3.6	5.6	4.8	8.7	17.5	2.2	2.9	9.7	48.4	0.0	
清掃と畜業	18.6	41.6	17.4	12.1	19.5	10.4	10.8	21.0	3.8	4.7	14.4	70.0	0.0	

心臓疾患の疾病の心筋梗塞や脳卒中の発症に大きく関連する「血圧」「血中脂質」「血糖」の異常所見率が高い数値を示しており、特に「血中脂質」については、有所見者の約53・5%の5万6203人と有所見者の半数以上が「高脂血症」の可能性があることとなります。平成20年度を初年度としてスタートした「第11次労働災害防止推進計画」の目標の一つに「定期健康診断の有所見率の増加傾向に歯止めをかけ、減少させること」が掲げられております。

定期健康診断の有所見者に対し、健康診断結果について医師等の意見を聴き、必要な健康診断実施後の措置を的確に講ずるとともに、健康の保持増進に努め、第11次防の目標達成に向けて積極的に取り組んでいただくことが必要です。

また、「脳・心臓疾患等」の労災請求は平成19年をピークに減少してき

表2 定期健康診断有所見率10年間の推移(業種:全産業)

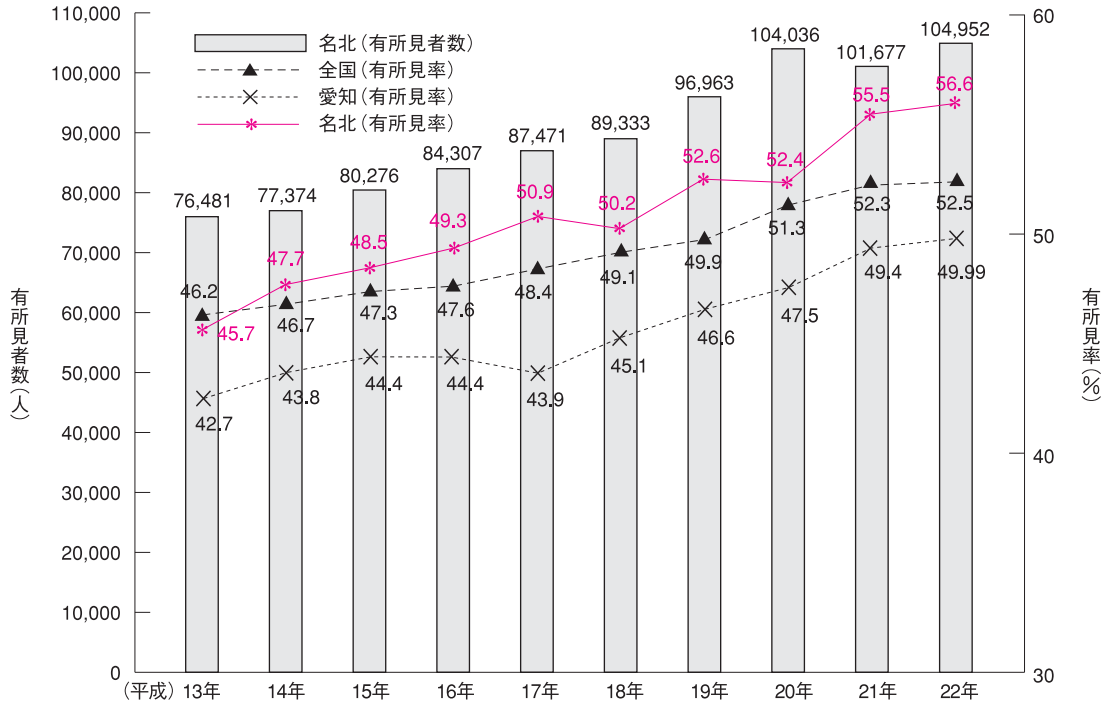
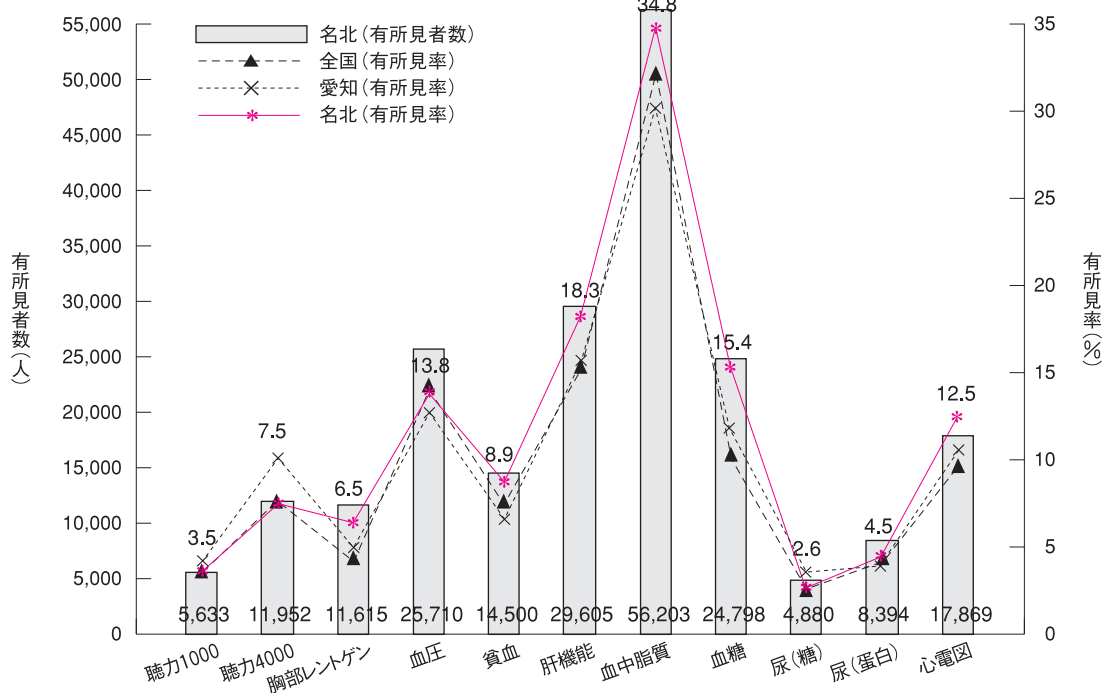


表3 定期健康診断有所見率(平成22年 検査項目別 業種:全産業)



ておりますが、「精神障害等」の請求件数は毎年増加しております。これらは、長時間労働による過重労働が関連しており、労働安全衛生法第66条の

8及び9において、医師による面接指導の実施をすべての事業場に定めております。面接指導の実施の際には、うつ病等のストレスが関連する精神

疾病等の発症を防止するためメンタルヘルス面にも配慮することとなっております。

産業医の選任義務のない労働者50人未満規模の事業場においては、名古屋北地域産業保健センター及び春日井・小牧地域産業保健センターにおいて無料で面接指導を受けることができますので、

積極的に活用し労働者の心とからだの健康づくりに取り組んでいただきませうお願いします。

「2011産業保健フォーラムin愛知」のご案内

日時 平成23年10月21日(金) 13:00～16:40

会場 中区役所ホール(名古屋市中区栄4-1-8)

内容 ①開会あいさつ
②THP表彰伝達 ③講

演「職場のメンタルヘルス対応事例について」

④事例発表「THP優良事業場の活動内容紹介」

「快適職場づくりの活動内容紹介」

⑤講演「名古屋市の受動喫煙防止対

策について」 ⑥講演「名古屋市における自殺の実態について」 ⑦「メンタルヘルスガイドブックの紹介」

対象者 事業主、医師・医療関係者、産業保健・

労務・安全衛生スタッフ、その他当フォーラムに興味のある方

定員 300名(定員になり次第締め切る)

参加費 無料(但し、申し込み&愛知労働基準協会受付印のある参加票の提出が必要)

主催 愛知労働局、愛知県、名古屋市、愛知THP推進協議会

問い合わせ先 (社)愛知労働基準協会 (☎052-221-1439)

平成23年度安全衛生優良事業場表彰決まる

平成23年度安全衛生表彰事業場

(当協会会員事業場分)

厚生労働大臣奨励賞

竹中・土屋・ヒメノ特別共同企業体
科学館理工館・天文館改築工事